

## 市民参画推進に関する市民会議（7年度 第2回）会議概要

### （日程・場所・出席者）

（日 程） 令和8年2月4日（水）14:30～15:30  
（場 所） 鹿児島市役所 本館2階 特別会議室  
（出席者） 委員14名  
（事務局） 市民協働課

### （会議の次第・配付資料）

#### 【会次第】

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 会長及び副会長選出
- (4) 鹿児島市市民参画推進に関する市民会議の概要について
- (5) 協議
  - ① 7年度の市民参画手続の実施状況（中間報告）
  - ② 8年度の市民参画手続の実施予定
- (6) その他
  - ① 前回の市民会議で出された主な意見に対する対応
  - ② 今後のスケジュール
- (7) 閉会

#### 【配付資料】

- 市民参画推進に関する市民会議委員名簿（資料1）
- 鹿児島市市民参画推進に関する市民会議の概要について（資料2）
- 7年度市民参画手続実施状況一覧表（資料3）
- 8年度市民参画手続実施予定一覧表（資料4）
- 前回の市民会議で出された主な意見に対する対応状況（資料5）
- 今後のスケジュール（資料6）

## 委員の意見・質疑等

委員の意見・質疑等	
	<b>【7年度の市民参画手続の実施状況】</b>
1	<p>(委員) パブリックコメントは市民全体向けにはわかりやすく、関連のある方には詳しくするなど、対象に合わせることで意見を吸い上げやすくなる。どこに主力を置いて、パブリックコメントを実施していくかが大事である。令和7年度の実施状況を聞いて、周知方法の工夫が進化していると感じた。</p> <p>(事務局) 関係する当事者の方々は関心が高く、多くの意見を寄せてくださる傾向があります。そのため、そうした方々によく情報が届くよう、関係団体を通じて周知をお願いするなどの取組を進めてきました。しかし、当事者だけでなく市民全体の意見も重要ですので、市民の皆さんにもわかりやすく伝わるように工夫しています。具体的には、概要版を作成したり、理解しやすいサブタイトルを付けたりするといったことに取り組んできました。</p>
2	<p>(委員) 宿泊税検討事業について、鹿児島市内の宿泊客は県全体の約5割を占め、昨年はおよそ400万人ほどに達している。宿泊税を1人200円とした場合、単純計算で約8億円の税収が見込まれる。この税は市民ではなく、宿泊利用者が負担するため、導入への抵抗は少ないと考えられる。したがって、宿泊税の趣旨や用途を明確にしながらかかりと進めていけば、新たな税収対策として適切な取組になると考えている。また、集めた税金が市民のためにどのように活用されるのかについて、広く周知していくことも重要である。</p>
3	<p>(委員) パブリックコメントを実施する際に、決まりごとやフォーマットがあるとは思いますが、商品と同じで何のためのパブリックコメントなのかわかるキャッチフレーズがあると興味関心を引くことができる。</p> <p>(委員) パブリックコメントは行政手法としての役割だけでなく、民主主義の一つの形態でもある。鹿児島市が市民参画推進会議を開催していること自体が、民主主義を体現し市民に寄り添おうとする姿勢を示している。パブリックコメントに限らず、そういった意見を聞く場があると、より鹿児島市を好きになる。</p> <p>(事務局) 計画の策定や変更のパブリックコメントは親しみにくい部分があるため、サブタイトルをつけるという工夫をしております。例えば「第5次鹿児島市子ども読書活動推進計画」では「いつでもどこでも本の世界へ！」というサブタイトルをつけています。今後も、興味を引き、意見を引き出す導入となるようなサブタイトルの設定を行っていきます。</p> <p>(会長) 市民会議資料にもサブタイトルを入れたほうがいい。</p> <p>(事務局) 次回資料に加えます。</p>

## 委員の意見・質疑等

4	<p>(委員) 「甲突川千本桜再生プロジェクト」では、専門家の必要性和育成について話があったが、樹木の被害や維持管理が急務なのか、市として早期に育てていくのか、それとも外注で委託をするのか、こういった取組を考えているのか気になった。</p> <p>(事務局) パブリックコメントで提出された意見をこれから計画に反映させていきます。その計画をもとに事業を実施していくため、具体的な取組はお伝えができない段階です。現在は桜の病害虫対策、植栽基盤の改善方法を定めた計画の作成を検討していると担当課から伺っておりますので、具体的にはこれから進んでいくと思います。</p>
5	<p>(委員) パブリックコメントに社内の若い人たちと取組もうとしたことがあるが、抽象度が高く、範囲も広いため何が求められているのかがわからなかった。会議資料をみてもパブリックコメントの件数や意見の提出者数は書いてあるが、詳細なところは大枠でまとめられている。当事者からはどんな意見が多かったのか、普段利用しない人はどうなのか改善点がわからないと議論が難しい。</p> <p>(事務局) 市民会議は、パブリックコメントや意見交換会において行った取組について、新しい工夫や方法を全体で共有し、検討・研究・発掘していく場となっております。そのため個別の計画の意見の掘り下げたところまでは、この会議の検討の対象ではないと考えております。</p> <p>(委員) パブリックコメント手続きの実施結果が、鹿児島市のホームページに上がっているので、どんな意見が出されているか興味のあるものについては、事前に見ておくことができます。</p> <p>(事務局) 今回初めて委員になられた方々に、ホームページのどこにどのような情報が載っているという、事前の案内が不足していました。会議に臨むために見ておいていただきたいような提示等の案内を工夫いたします。</p>
6	<p>(委員) 私が学生にパブリックコメントを書かせる試みをするときは、過去の事例を見せるようにしている。過去の意見と採択状況を見せると、難しい意見でなくとも、気軽な意見でも構わないのだと学生は感じる。パブリックコメントのハードルを下げる工夫として、市民協働課が実施している出前授業のテーマに「パブリックコメントの書き方」を加えてはどうか。</p> <p>(事務局) 貴重なご意見として検討いたします。</p>
<b>【8年度市民参画手続実施予定一覧表】</b>	
1	意見なし